

じょうしゅう ほ たかさん  
**コース 28 上州武尊山**

リーダー CL K/T SL M/T

実施日 平成27年 8月 19, 20日(水、木) 天候 曇り、わずか一時霧雨

参加者 18 (男性 5 女性 13)

グレード C上~D

**コースポイント**

ポイント	到着時間	出発時間	備考
19日秋葉区役所前		13:05	沼田ICからR120経由で民宿へ
民宿「みやま」	16:15		夕食、朝食とも手料理でおいしい
20日「みやま」		6:05	マイクロで武尊牧場P→シャトルバスで三合平
三合平(リフト上部)	6:40	6:45	高原は秋の花が一杯、白樺が美しい
武尊避難小屋	8:08	8:15	咲花・田代湿原の道を分け、緩い登りが続く
鎖場(3連続)	10:10	10:30	このコースの目玉?下りは15分
沖武尊(山頂)	11:15	12:05	途中中ノ岳南肩分岐、水場、三ツ池など通過
三合平	16:05	16:07	シャトルバス出迎え、下方P
沼田IC		17:40	下山25分短縮、区役所着も25分短縮
秋葉区役所前	20:05		登り難い名山登頂達成の成就感・充実感に浸る

**山行等概要(幹事のコメント)**

- この山はH8年とH15年の2回経験があったが、だいぶ前のことでもあり、過ぎてみると美しい思い出だけが残っている。しかし、いざ山行で人を案内するとなると少々不安も出てきて急遽下見をすることとし、SLと2人で今回計画の逆コースで歩いた。武尊山行前泊の民宿「みやま」に宿の下見を兼ねて投宿した。
- 宿泊山行では泊まる宿も大事。「みやま」は各メンテナンス(施設設備)も良好、食事もうま、大女将、若女将共々愛想もサービスも満点。それに若女将直々に回遊・縦走のための車回しを早朝からしてくれ、こんなによくしてくれる宿は滅多にあるものではないと感謝感激するばかりであった。
- 肝心のコースはオグナ武尊(スキー場)からのコースは、中岳南面の合流点までの長い車道歩き、合流点からの前武尊までの土が大きくえぐらえぐられ、むき出しの巨木の



上州武尊山々頂 ・日本100名山、2,158m  
 360°の大展望も、ガスの晴れ間で少しかいま見えただけ

根、露岩の荒れた道、続く剣が峰の左右の巻き道も荒れている。そして何よりも問題となるのは、中岳南面の合流点手前の「家の串」の馬の背状の岩尾根、切れ落ちた岩場が3~4か所連続する行程である。ここへ来て初めて「このコースは山行では無理だな」と実感した。

- その後山頂までで会った集団、2つのツアーも武尊牧場往復なのを知って「やはりそうか」と合点した。下見は中岳南面から山頂を往復し武尊牧場へ下って終えたが、このコースは3連続する鎖場以外は穏やかな登り(下り)で危険箇所はない。鎖場も左右に切れ落ちているということはなく、慎重に登り降りすれば大丈夫という見通しをもった。
- 山行当日の状況には全く触れないでしまったが、それについてはSLの記す紀行文に全面的にゆだねたい。

## ほたかさん 「武尊山登山に参加して」

(216) M/T

武尊山への登山は今回で四回目、何で同じ山にと思われるかもしれぬが、訪れる季節、コース、メンバーによりそれぞれに毎回異なった感動が得られるため。

8月19日(水) 午後区役所前を出発、宿泊予定の旅館「みやま」着。清潔感があり、廊下には宿の女将の連れ合いが趣味で描かれた多くの水彩画が出迎えてくれた。何となくホッとする。

夕食までの間に入浴をすませる。と、オヤツに大女将が丹精された新鮮なトウモロコシが振る舞われて、用意されているコーヒー、お茶と共に美味しくいただいた。夕食は手作りの自家製食品の田舎風料理11品が並んだ。中でも私は、「花豆の甘納豆の春巻」は、初めて食べた。美味しかった。

下山後、無事下山した旨を伝えるべく立ち寄ったら、「車中に食べて」と花豆の甘納豆を頂戴し、全員で賞味した。宿のことはこれくらいにして。



2015.08.20

### 出発点の武尊牧場

- 白樺の林と草原が美しい
- 群生するヤナギランが見事。
- 月見草、シシウド、タデ科の花々が見事

8月20日(木)曇り、降らないことを願いながら宿を出発。

登山口の三合平付近は美しい白樺林とヤナギランの大群生に感激。最初はコンクリートの緩やかな登り、次いでブナ林の土の緩い登りになる。程なく、小栗康平監督の「眠る男」のロケ地を横目で見て武尊避難小屋でひと休み。続いてロープの張ってある小湿原を経て、マイズルソウ、トリカブトに会いながら、所々えぐられた笹の道を歩行し、今回一番の難所の手前でリーダーから登り方の指導を受ける。ストックを持っている人は仕舞う。曇っている割には眺望がきく。いよいよ鎖のついた直道の岩場、真剣に全員無事通過。分岐の中ノ岳から頂上に向かって最初にリンドウが迎えてくれ、笹清水でのどを潤し、岩が露出した湿地帯、三ツ池ではカラムツソウの群生を見ながら急斜面を登ると日本武尊やまとたけるのみことの立像が現れ、10分ほど登ると山頂に到着。広々として眺望可。一等三角点、御嶽山の碑、方位盤があり、思い思いに撮影した後全員宿からの昼食用弁当を食べる。デザートにコンニャクゼリー、ミカン1ヶが入っており、この時節ミカンが高価なのにと主婦が顔を覗かせる。

下山途中は時々ガスがはれて遠望の山々が見られてよかった。三ツ池付近で思いがけずキヌガサソウを見ることができた。難所の岩場も無事通過し、三合平に下山、と同時にガスってきて、そして迎えのバスに乗ると同時に降雨、なんと幸運のことでしょう。

ここで一寸気になることが。外は雨、バスの中で女性数人がゆっくりと着替えをされており、(女性の中でも早々に着替えをすまされた人もいる。)男性が乗ることができず待っておられた。

何はともあれ、山行中は天気予報がよい方に変わって暑からず寒からずで歩き易く、全員足並みがそろって無事に下山できたことは何よりのことと思っております。さすが百名山、宿も含めて心に残る山旅となりました。



### ブナ林でのひと休み

下山途中、武尊牧場手前 ・ 小栗康平監督「眠る男」のロケ地